

～ 自信と誇りを持って行動できる生徒の育成 ～
学び考える生徒 思いやりのある生徒 進んで心身を鍛える生徒

滑中だより

令和5年4月10日発行 第1号 文責 校長 山崎 則枝



義務教育7・8・9年生

189名の新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。そして、2・3年生の皆さん、進級おめでとうございます。滑川中学校は生徒数587名、職員数53名で令和5年度をスタートしました。

中学校の3年間は、義務教育9年間の最後の3年間です。つまり、中学校生活3年間で義務教育が修了します。「義務教育が修了する」ということは、中学校を卒業したら、大人として行動しなさい、という意味だと私は考えています。ですから、中学校3年間は大人になるための準備期間であると思います。大人になるとは、自分で考え、自分で判断し行動することです。もちろん自分の行ったことには責任を持たなければなりません。中学校を卒業したら、自立した大人になってほしいと思います。

自立した大人になるために、この中学校3年間で積極的に様々な体験をすることが大切です。何かに挑戦し成功という体験と失敗という体験、楽しいことやうれしいことに感動する体験と苦しいことや辛いことを乗り越える体験など…。世の中は、自分の思いどおりに物事が進まない可能性も大いにあります。ですから、失敗しても、苦しく辛くても決して諦めずに努力し続けてください。失敗から学ぶということは、長い人生を豊かに生きていく上でとても大切なことです。失敗を恥じたり、恐れたりする必要はありません。先輩たちもそうやって様々な体験を繰り返し成長してきたのです。明日から先輩たちの姿を見れば、皆さんが目指す一年後、二年後の姿がイメージできると思います。

2・3年生の皆さんの準備登校での行動一つ一つを見ていると、それぞれに進級し、新たな目標と先輩としての自覚を持って新年度を迎えたな！と感じ、頼もしく思えました。1年生と共により良い滑川中学校を創り、これからの社会に必要な力と知恵を仲間と共に身に付けていきましょう。

保護者・地域の皆様、「子供たちの健やかな成長」という共通な願いのもと、学校と保護者、保護者と保護者、学校と地域が互いに手を取り合い、常に子供たちを中心に置いて連携していけば、多くの問題や課題は解決できると考えています。滑川中学校61年の歴史に裏付けされた伝統を受け継ぎ、いつの時代においても変わることない学校本来の姿を見失うことなく、更なる教育活動の改善に教職員一丸となって全力で取り組みます。学校・家庭・地域の連携・連絡を密に、今後も変わらぬご支援・ご協力のほどよろしくお願いいたします。



◇目指す学校像 **「笑顔と幸せがあふれる滑川中学校」**

◇目指す生徒像 自信と誇りを持って行動できる生徒

◇目指す教師像 自信と誇りを持って「教育は人なり」と言える教師

滑中生でよかった、滑中に通わせてよかった、こんな居がいのある学校をつくります